



結城農業かわら版



第113号 発行 結城地域農業改良普及センター
令和元年9月20日 TEL: 0296-48-0184 FAX: 0296-48-2682

HPへアクセス↑

結城地域女性農業士会活動紹介

農業経営と生活の向上に意欲的に取り組み地域のリーダーとして活躍している女性農業者を、茨城県が女性農業士として認定しています。結城地域の13名の女性農業士は、小学生への農業体験ふれあい交流会や若手女性農業者との料理教室等、食農教育活動を行っています。

ハーバリウムづくり

8月6日に自主研修として、古河市食遊三和の鈴木さんを講師にハーバリウム作りを行いました。ハーバリウムとはプリザーブドフラワーやドライフラワー等の乾燥処理したものを瓶に入れて専用オイルで浸したもので、インテリアとして人気があります。



↓皆様説明を熱心に聞いていました



↑センスの光るハーバリウム

ハーバリウムづくりでは紙の上に花材を並べ設計図を描き、ピンセットで瓶の中で位置を調整します。

様々な色・種類の花、貝殻、ゴーヤ、ライム等の中から自分の好みのものを選び、各々がそれぞれのセンスで作品を仕上げました。

アグリフードExpo

8月22日には先進事例研修として、東京国際展示場にて行われた「アグリフードExpo」に参加しました。

「アグリフードExpo」は全国各地の魅力ある農産物づくりに取り組む農業経営者や国産品を活用したこだわり食品を製造する加工メーカーがブースを展開し、販路拡大に向けた商談を行う国産農産物商談会です。

会場には全国津々浦々から地域特産物の加工品が一堂に集まりました。参加された方々は実際に加工品を試食したり、積極的に出展者に質問をしたりと会場内を隅々まで見て回り、とても充実した研修となりました。



会場での集合写真

日本政策金融公庫の相談窓口が県西農林事務所に開設されました！

県西農林事務所に資金や経営に関する定期相談窓口が開設されました。ぜひご利用ください。ご相談をご希望の方は必ず電話での事前予約をお願いします。お気軽にどうぞ。

相談窓口	住所	開催日	公庫担当者
県西農林事務所 (筑西合同庁舎内)	〒308-0841 筑西市二木成615	毎月第1・3水曜日 13:00~16:00	名波・阿部

お問い合わせ: 日本政策金融公庫水戸支店 農林水産事業 TEL 029-232-3623



イネ縞葉枯病の発生が増えています！



イネ縞葉枯病は、ヒメトビウンカによってウイルスが媒介されることで感染が広がります。発病してしまうと治療ができないため、ヒメトビウンカの適正な防除によって発病を抑えなければなりません。ヒメトビウンカを防除するためには、**秋からの防除の徹底**が大切です。

①収穫後速やかに「耕起」を行いましょ！

稲収穫後のヒコバエ（再生稲）はヒメトビウンカの生息場所になります。できるだけ早く荒起こしを行いましょ！

②畦畔の除草を行いましょ！

畦畔のイネ科雑草もヒメトビウンカの生息場所になります。稲刈り後も畦畔の除草を徹底しましょ！

③育苗箱施用薬剤は残効性の高いものを使いましょ！

ヒメトビウンカの成虫は6月中旬にも飛来するため、使用する薬剤は残効性の高いものにしましょ！

④飼料用米も防除を行いましょ！

飼料用米などの抵抗性品種であってもヒメトビウンカの生息場所になりうるため、キチンと防除を行いましょ！



発病した様子（左：新葉 右：出穂後）

次作に向けて、秋からの防除を徹底しましょ！

ご注意ください！！ 茨城県内におけるツマジロクサヨトウ発生について

ツマジロクサヨトウは南北アメリカ原産のチョウ目害虫で現在、世界中で分布域を拡大しています。日本でも7月に鹿児島県で初確認された後、九州、沖縄に広がり、8月12日には茨城県水戸市の飼料用トウモロコシほ場でも確認されました。

ツマジロクサヨトウは多食性で広範囲な作物が寄主範囲となっています。さらに摂食量が多いため多発すると作物に大きな被害をもたらします。

被害拡大防止には早期発見が大切ですので、疑わしい虫を確認した際は当センターまでお問い合わせください。また、ツマジロクサヨトウに関するさらに詳しい情報については農林水産省ホームページもご確認ください。



↑ツマジロクサヨトウの姿（左：成虫 右：幼虫）

農林水産省HP「ツマジロクサヨトウに関する情報」

(http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html) ↑



2020年4月入学 茨城県立農業大学校入学生募集のお知らせ

◆募集人員等

農業の実践力を養います。大学への編入資格も得られます。

区分	募集人数	受験資格	修業年限	専攻コース
学科	農学科	40名	2年	普通作・露地野菜・果樹
	畜産学科	10名		畜産
	園芸学科	30名		施設野菜・花き
	研究科	10名		作物・園芸・畜産
		高校等を卒業したもの又は令和2年3月に卒業若しくは修了見込みの者		
		農業大学校卒又は短大等卒業以上若しくは卒業見込みの者		

◆願書受付・入学試験

試験区分	願書受付期間	試験日	選抜方法
推薦入試 (各学科)	令和元年9月30日(月)～10月18日(金)	令和元年10月30日(水)	小論文 口述試験(個別面接) 調査書等
一般入試 (各学科)	前期	令和元年11月11日(月)～12月6日(金)	令和元年12月12日(木)
	後期	令和元年2月3日(月)～2月21日(金)	令和元年3月5日(木)
研究科 一般入試	令和元年11月11日(月)～12月6日(金)	令和元年12月12日(木)	筆記試験 口述試験(個別面接) 調査書等

◆問い合わせ先

茨城県立農業大学校 入試事務局 TEL 029-292-0010